

**未来社会創造事業 探索加速型本格研究**  
**第2次ステージゲート評価結果**

1. 領域

「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

「ゲームチェンジングテクノロジー」による低炭素社会の実現

3. 研究開発課題名

電気自動車への走行中直接給電が拓く未来社会

4. 研究開発代表者名

藤本 博志(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)

5. 評価結果

第2次ステージゲート通過とする。

評点:

S 評価基準を満たしており、特に優れたところが認められる

評価コメント:

本研究開発課題は、探索研究で開発した走行中給電技術をシャトルサービスモビリティに応用し、公道に給電設備を設置して走行中給電の実証実験を行うものである。これにより、従来の大容量電池を1/4程度に小型・軽量化したEVでも駐車中充電が不要となることを実証し、EVの製造・走行・廃棄に係るCO2排出量の削減を目指している。

本格研究では更に参加企業を増やし、役割分担された優れた体制で、計画より1年前倒しの今年度から公道実証実験に着手できたことはすばらしく、これを高く評価する。今後、実証実験で顕在化する課題を研究にフィードバックし、その解決に取り組むことを期待する。

また、グローバルな社会システムの成否は、技術の良否のみだけでは決まらないので、国際標準化と知財権利化は、より一層の活動が必要である。

以上